

議 事 録

件 名	第24回 児童虐待防止対策委員会	
日 時	令和2年2月10日（火）14：00～15：20	
場 所	久留米市庁舎 14階会議室	
出席者	委 員	吉岡委員長、佐田副委員長、早川委員、重永委員、下川委員、古賀委員 刈茅委員、川上委員、清水委員、梅崎委員
	事務局	【家庭子ども相談課】中井補佐、佐藤 【安全安心推進課】岡主査、井上
欠 席 者	原委員、淡路委員、深堀委員、平田委員	
傍 聴 者	なし	
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員自己紹介、正・副委員長の選出について 3. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 今後の主なスケジュールについて 4. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 具体的施策（取り組み）について (2) 市民意識調査及びセーフコミュニティに関する実態調査について <ul style="list-style-type: none"> ・今後のデータ収集について 5. その他 6. 閉会 	
質 疑	<ol style="list-style-type: none"> 2. 委員自己紹介、正・副委員長の選出について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局提案で、委員長に吉岡委員、副委員長に佐田委員を選出 3. 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心推進課より資料1に沿って今後の主なスケジュールについて説明 ・質問なし 4. 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 具体的施策（取り組み）について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、具体的施策（取り組み）について資料2～4と資料7に沿って説明 <p>委員1</p> <p>3つの事業でそれぞれの構成機関には今後とも積極的なご協力をよろしく申し上げます。補足として、17ページの資料については例ですので、課題をみて、忌憚無い意見を次回の会議に向けてお考えいただきたいと思います。</p> <p>委員2</p> <p>せっかくなので報告します。明星中学校で赤ちゃんふれあいに参加しました。（タブレットで写真を見せながら）中学生はもっとすねた態度をとるのかと思ったら、男子女子関係なく、子どもの緊張をやわらげるため学校であんぱんまんのワッペン作りなど先生方のサポートの元で事前準備をして臨んでいて、ものおじせずお母さん関わっていて、小さい子どもさんの扱いも上手で驚きました。妊婦体験をした後、生徒同士が活発に意見を交わしている姿を見て、体験って何よりも勝るなと思ひまして、そういうところから他の情報も入ってくるのだな、体験があるから耳に残る、目にとまる、ポスターとかが目に入るようになるのだと思いました。男子が謙虚に女子に聞いている姿が面白かったと思います。</p>	

委員 1	<p>私たちの共通認識として、中学校の今の厳しい授業の隙間を上手く使って、中学 3 年生が 2 日間行うために、前の年から学校に声を掛け、教頭先生、養護教諭、家庭科の先生と調整しながらやっているのですけれども、やはりなかなか行政から言っても難しい、民生委員、主任児童委員、教育委員会から言っても難しい、ただ単発な依頼になっているところにも課題があると考えられるので、やはりそこは連携して、常々これは必要ですよといい続けなければならないし、次年度に向けてプラスアルファの P T A からの連携もあると思います。ただ、学校の事情もあるので絶対してくださいとも言えないし、状況に応じて可能性が掘げられないかなと思います。</p>
委員 3	<p>くるるんでは、夏休み中に中高生を対象にふれあい体験を実施しています。今のお子さんはいい子で、学校でも気を遣って気持ちを出すところがない、かといって家でも親に心配をかけないようにいい子にしている子が多いです。そんな学生さんも、子どもとのふれあいがとてもリフレッシュする、ストレスの解消になると言ってくれて、毎年来られる学生さんもいます。こういう体験ができますよというのも先生に依頼をするのですが先生によって周知の仕方も違います。</p>
委員 1	<p>それは学校を通しての広報ですか？</p>
委員 3	<p>学校を通しての広報ですが、申込は生徒本人からしてもらったり、学校で先生のほうから申込があったりもします。</p>
委員 4	<p>夏休み中毎日やっているのですか</p>
委員 3	<p>毎日というか、子どもたちのスケジュールに合わせてやっています</p>
委員 4	<p>私は良山中なのですが、クラスが多くて今年は 3 日間やらなければならなくて、日程を 9 月にしたところ明星中と日程がかぶってしまい、赤ちゃんの人数が足りなくなったらどうしようと心配していたのですが、くるるんつながりがあり、お母さん達の情報が多く、お母さん同士で調整してもらえたことで赤ちゃんに人数が減らないまま 3 日間できました。子どもたちも毎年ふれあいをするのを待っています。何年前かに中学生で赤ちゃんを産んだ子がいました。私も関わっていましたが、命の大事さとか子どもを育てていくことがどういうことなのか、いま彼女は実体験としてやっているところです。そういうのを見て胸が痛いですし、そういうことも含めて大事だなと思っているところです。1 校でも毎年どこかで増えてくれればいいなと思っています。</p>
委員 5	<p>他に意見や質問はありませんか</p>

委員 6	<p>2014 年から 9 校に着実に増えてきていますが、増えている要因とか、たぶん努力をされていると思うのですが、一番学校で理解をしていただく要因は何でしょうか。</p>
事務局	<p>ここ 2、3 年で増えたところは、同じ校長先生の異動で増えました。9 校の内 3 校は同じ校長先生です。それと地域で働きかけをしてくださり、そこに事務局が学校へ説明に行き行って拡がりました。</p>
委員 7	<p>誰かにスイッチがはいれば拡がっているが、それが良くも悪くも、それ以外の広がりが難しい。学校をあげて取り組まなくても、家庭科の授業、職場体験、子育てサークルと組めないかできないか等の意見が出たと思うので、それらが取り入れられた結果で拡がったのならうれしいと思います。やり方とか拡がったところはなぜ拡がったのかの検証がなされれば、逆に拡がらないところが何故拡がらないかも見えてくると思うので、これが一番案外大事かなと。子ども達は体験学習が好きなので感想を聞いてもいつも手ごたえありという感想があるからですね。このセーフコミュニティの考え方自体が他機関の連携、横のつながりで拡がると良いと思う。幼稚園をやっている、昭和の初期の子育て感と今の子育て感は違うという話を祖父祖母にすることがある。核家族化とはいえ交流があるため、世代を超えたところでのアプローチが回りまわって今の子ども達に還元されているところもある。ふれあい体験もそうですけれど、ちょっと離れたところから結果的に自分がどう育てられたかを知るといようないろんなやり方もあるのかなと思いました。</p>
委員 8	<p>P T A 会長をやっていますが、学校では授業時間の確保で餅つきの時間が無くなったり、夏休みが短縮したりして、授業時間の確保が難しく、教育委員会に言っても難しい。学校には各委員会があるので、委員会では講演会をやっているところもあるので、そこに話をもっていくとまた新たな考え方も見えてくるかなと思います。</p>
委員 2	<p>体験の前後でアンケートを実施して効果がわかるように数値化する。学年主任の先生や教頭先生を説得するための材料があるかなと思います。</p>
委員 7	<p>子ども達からの相談が少ないという件について。自分が性的虐待を受けている場合、気づくのが遅い。大学生の協力も大事だけど、小さい子どもがこういうことは声をあげていいことなんだと分かる読本、そういうときはここに相談したらいいんだということが子どもでも読めるポスターやカード、それに気づくようなきっかけになるようなものがどれくらいあるのかな。漫画や読みやすい雑誌で興味を持つ子どもも多いだろうなど。</p>

委員 2	<p>図書館で、読み物で危ないその傾向のもの、グロイ系のものをずっと借りているとかなりリスクが高いです。相談カードですけど、他市で、あなたにはこういう権利がありますよと言ってからそのカードを渡すと効果が高い。当たり前とってきているので、そこにワンクッションのアプローチがないと相談しづらいのかなというのがあります。</p>
委員 7	<p>さっきの話と絡めると、人権学習の時間に、子どもの人権を守るとか、子育てについて学ぶとか そういった時間の使い方に当てられないかな。いろいろな使い方を考えられると思います。</p>
委員 5	<p>お話を聞いて、低学年のほうがその時間をもっととりやすいのかなとも思いますし、月に 1 回はどの学校も学級参観があるのでそこに話を持って行って、もっと小さいお子さんに話をしていくのも大事なかなと思いましたが、中学校にも配慮が出てくるかなと思いました。</p>
	<p>(2) 市民意識調査及びセーフコミュニティに関する実態調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、市民意識調査及びセーフコミュニティに関する実態調査について、資料 5～6に沿って説明
事務局	<p>調査の項目につきましては、よかったですこの場でも皆様の意見を聞きたいとも思いますし、一旦事務局のほうで前回と同じように項目の案を提案しまして安全安心推進課のほうと協議をさせていただいて、内容を事務局で決めさせていただきたいと思っています。もし今日ご意見等がでなかった場合は、今月中くらいにお電話あるいは F A X、メール等でも構いませんので、意見を頂戴できればと思っております。</p>
委員 1	<p>平成 29 年度の調査は合計 121 問、それに対して令和 2 年度は全体で 35 問程度の設問数ぎゅっとしぼった設問数になっているということですねいいのですね。</p>
事務局	<p>前回よりも内容が絞られていると聞いています</p>
安全安心推進課	<p>平成 29 年度につきましては、翌年度に現地審査実施しております。現地審査をデータで活用することがあり年代区分を分けて多くの設問があったという経緯がありますが、来年度実施を予定しております実態調査については、今後、重点分野の検証・見直しや、次の再々認証に向けての検証・見直しについてのものです。今提示しています令和 2 年度案はあくまでも案ですので、今後変更していく可能性があります。</p>

委員 1	セーフコミュニティ推進の骨格にある重点取り組み6分野10項目トータルで設問数が35問程度という理解でいいですか。
安全安心推進課	はい。
委員 5	内容については精査がいるかなと感じました。 今思いつかない場合は、今月中に意見を後日家庭子ども相談課さんへお願いできればと思います。
委員 2	体罰禁止がどれだけ家庭の中に周知されているのかなと思ひまして。
委員 5	虐待はDVとかも絡んでくるので、一緒に設問に枝番をつけて質問ができる。
委員 1	この中でそういったご意見を一旦聞かせていただいて、最大公約数になるような形で事務局のほうで整理をさせていただいて、協議会事務局と調整させていただくのが一番望ましいかなと思ひます
委員 5	他の分野との関連とのあると思ひますので、他の設問とつながるようなとりかたをしていただけるといいのかなと思ひます。
委員 9	先ほどの説明で、再々認証を受けるための準備だと受け取りました。現地指導の内容に基づいた設問を考えているのですよね。
安全安心推進課	ご指摘いただいた分を含めて、6分野10項目で進めているのですけれども、そもそもこの6分野10項目でいいのかということも含めて、今後再々認証に向けて検討していきたいと考えています。そのための設問を検討しています。
委員 7	アンケートで久留米市の児童虐待の結果に基づいて、この3つの事業をやっているのですよね。こういうニーズに基づいてこういうデータがある。こういうデータがあるからこういう取り組みをしている、もしくはこういうデータがあるからこうやり方を変えたというような認証の取り方をしなければ、認証を取り続けるためにアンケートを取っているような印象を受けます。そうじゃないとは思ひますが、そうなってしまうと本末転倒になってしまう。この取り組みがどうあるべきかということの元になるようなデータがとれるようなアンケートを、どの時期に児童虐待の実態を知っておけばいいのか、その結果やはり幼少期から啓発しなきゃいけないとか、もしくは実体験として赤ちゃんふれあいの授業はこの結果から必要なんだというような結果がでるようなアンケートの設問があるほうが、シンプルで、報告にも力が入ると思ひました。

委員 5	設問数が限られているので、こういった意見も踏まえて事務局にお任せしようと思いますが、せっかく警察からも来ていただいているので、ご意見はいかがでしょうか。
委員 10	児童虐待には、身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、ネグレクトの 4 つがあるのはご存知ですか。我々警察はその最前線で傷を負った人の対応をしています。その一方で児童虐待の 6 割は面前DVであります。夫婦喧嘩を子どもの前でしてしまい、結果子どもが心理的虐待を受けてしまうということが多いです。警察では、若い夫婦にこういったことが面前DVなのだという啓発をしていくのが一番大事だと思っています。
委員 1	現在ある 3 つの事業は普遍的な事業ではないので、実態に基づいてスクラップ&ビルドしていく必要があると思います。啓発や事前予防策が必要であると思いますので、皆様ご意見をください。よろしくお願いします。
委員 5	何かありましたら、家庭子ども相談課にご意見をお寄せください。 5. その他 ・なし 6. 閉会